

「燕・弥彦観光ナビ」 利用イメージ



自分の目の前に広がる空間に、肉眼では見えない、さまざまな情報を表示するのが、「燕・弥彦観光ナビ」最大の特徴です。AR（Augmented Reality・拡張現実）技術を利用したスマートフォン用アプリケーション「Layar」を使用します。

① 3つの基本表示モード

「リアル」「リスト」「マップ」の3つのモードで情報を表示することができます



●リアル表示モード
「レイヤー」ならではの特徴的な情報表示がこれです。カメラ内に浮遊するアイコンの場所にお店や観光地があります。



●マップ表示モード
自分を中心に周辺の情報を地図上に表示します。地図が頭に入っているときは、一番便利な表示方法かもしれません。



●リスト表示モード
イメージと概略を一覧表示します。リストは自分から一番近い距離にあるものから順に表示します。

※イメージは開発中のもののため、実際にリリースされるモノと異なる場合があります。

② Google マップで目的地までの経路を表示

行きたいお店や場所までの道順（経路）を教えてください。



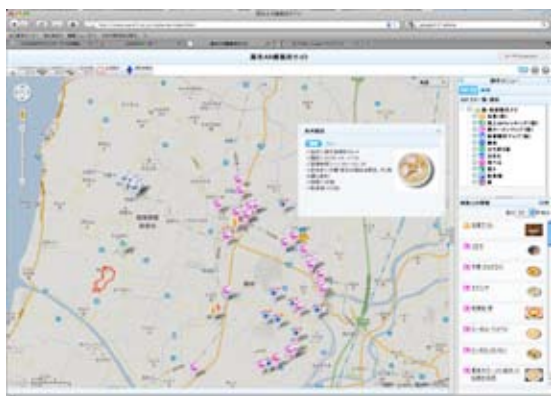
← Google マップが目的地までの道順（経路）を表示。GPS が常に自分の位置を確認します。

↓ 「Google マップナビ」（ベータ版）があれば、カーナビのように音声案内をしながら目的地まで誘導してくれます（現在は Android のみ）。



③ スマホがなくても利用できます

インターネットを利用し、パソコンでも情報を取得することができます。



インターネットを利用して、パソコンから「燕・弥彦観光ナビ」を利用することができます。画面右上がカテゴリー別の表示。右下がリスト表示。左がマップ表示となっています。アイコンをクリックすると、イメージと詳しい説明が新しいウインドウで紹介されます。

●レイヤーとは

「Layar」とは、Layar B.V. 社（本社：オランダ）が開発・提供する AR（Augmented Reality）拡張現実アプリケーションサービスです。GPS、電子コンパス、カメラ機能を使い、自分の周囲にある、さまざまな情報を表示します。

●対応機種

Layar は Android 端末と iPhone で、アプリケーションをインストールすれば利用できます。ただし、スマートフォン端末のカメラ、GPS 機能、電子コンパス機能を必要とするため、電子コンパスのない iPhone3G などでは利用できません。